

AGEphone Cloud for PC 操作マニュアル

Ver 1.1.7 2025.03.31

目次

1.概要	3		
1.1 更新履歴	3		
1.2 AGEphone Cloudとは	4		
1.3 AGEphone Cloudの主な機能	4		
1.4 動作環境	4		
1.5 制限事項	5		
MacOS / Windows版での制限事項	5		
仕様上の制限	5		
2.設定順序	6		
2.1 サービスを用意する	6		
2.2AGEphone Cloudをインストール	6		
2.3 簡易設定(初回起動画面)	9		
2.4 クイック設定	11		
2.5 キーパッド画面	12		
2.5.1 登録中	12		
2.5.2 登録成功時	13		
2.5.3 登録失敗時	14		
2.6. 設定画面	15		
2.7 ログイン情報設定画面	17		
2.8 SIPアカウント設定画面	18		
2.9 高度な設定画面	20		
2.10 WEB連携	23		
2.11 再起動画面	25		
3.操作方法	26		
3.1 アプリケーションメニュー	26		
3.2 発信する	28		
3.2.1 発信する(直接入力)	28		
3.2.2 発信する(リダイヤル)	29		
3.2.3 発信する(よく使う項目)	30		
3.2.4 発信する(履歴)	31		
3.2.5 発信する(連絡先)	32		
3.3 発信時	33		
3.4 着信	34		
3.4.1 着信させる	34		
3.5 着信時	35		
3.5.1 着信画面	35		
3.5.2 着信通知ポップアップ	36		
3.6 通話接続時	37		
3.6.1 キーパッド(通話接続時)	38		
3.7 パーク保留・パーク応答	39		
3.7.1 通話をパーク保留にする	39		
3.7.2 パーク保留を解除する	40		
3.8 ピックアップ	41		
3.9 保留時	42		
3.9.1 キーパッド(保留時)	43		
3.10 転送先の呼出	44		
3.11 転送操作	45		
3.11.1 転送操作(転送先を呼出)	45		
3.11.2 転送操作(連絡先)	47		
3.11.3 転送操作(キーパッド)	48		
4. その他の操作	49		
4.1 連絡先	49		
4.1.1 連絡先のインポート	50		
4.2 通話履歴	53		
4.2.1 通話履歴項目	54		
4.2.3 通話録音再生	55		
4.3 ログファイルパス	57		
4.4 通話会議を行う(開発中)	58		
4.5 QoS設定	61		
5. お問い合わせ先	65		

1.概要

1.1 更新履歴

版	発行日	項番	更新内容
第1版	2022/8/12		初版
第2版	2023/1/11	<ul style="list-style-type: none">● 2.9	設定項目の変更
第3版	2023/4/26	<ul style="list-style-type: none">● 3.~4.● 3.● 4.1.1	単独利用対応に伴う説明文の更新 スクリーンショットの更新 連絡先のインポート方法を追加
第4版	2024/9/17	<ul style="list-style-type: none">● 4.5	QoS設定方法を追加
第5版	2025/3/31	<ul style="list-style-type: none">● 2.● 2.5● 3.~4.● 4.1.1● 4.3	スクリーンショットの更新、文言の修正 登録中の見出し追加、文言の追加・修正、見出し番号の修正 スクリーンショットの更新、文言の追加・修正 注意事項の追加 ログファイルパスの追加・修正

1.2 AGEphone Cloudとは

AGEphone（エイジフォン）Cloudは高音質なIP電話の発信・応答を可能にするソフトフォンです。Mac/Windowsにインストールし、ご利用のプロバイダーの情報を入力するだけで、通話サービスがご利用いただけます。

対応サービス（製品）であれば、普段お使いのIP電話番号や社内の内線番号をそのまま使用できるため、ビジネスでもプライベートでも活用の方が広がります。

1.3 AGEphone Cloudの主な機能

転送機能	保留機能
通話録音機能	DTMF送出
+ 電話帳サーバ連携※	発着信履歴機能
クイック設定機能	アクションURL

※プレミアムプランに含まれております。

1.4 動作環境

対応OS	MacOSX 12/13 , Windows 10/11
通信環境	有線LANもしくはWi-Fi、モバイル接続、上り下り、それぞれ 128kbps 以上の通信帯域
空き容量	100MB以上
正式対応サービス	Asterisk、OpenSIPS、FreeSwitch、BIZTEL、BrekekePBX、NextGen B5000/C1000、+ 電話帳サービス

1.5 制限事項

MacOS / Windows版での制限事項

ソフトウェアの制限事項などに関しては、下記のリンクよりご参照ください。

<https://www.agephone.biz/download>

多数端末において動作確認が行われていますが、全てのAndroid機種での動作を保証するものではないです。一部端末では機種依存により対応できない端末もございます。また、全てのAndroid OSバージョン上での動作保証はしていませんのでご注意ください。

仕様上の制限

- ・ SIPエンジンの現行仕様により、許可された同時通話が最大数に達し着信が拒否された場合は、着信履歴には残りません。
- ・ アカウントを別のPCで利用する場合は、着信しなくなるなど想定外の動作をする可能性があるため、ログアウトを実施するようにしてください。（ログアウト実施前にAGEphone Cloud アプリをアンインストールした場合は、再度インストールしてログイン後、ログアウトボタンを押してからアンインストールを行ってください。）
- ・ 着信を即時拒否した際に、拒否が受け付けられない場合がございます。
- ・ ご利用のPCがスリープモード状態の場合は着信に応答することはできません。

2.設定順序

2.1 サービスを用意する

通話を行うにはIP電話サービスが必要です。サービス契約後、提供されたテナントID、ログインIDおよびパスワードが必要となります。

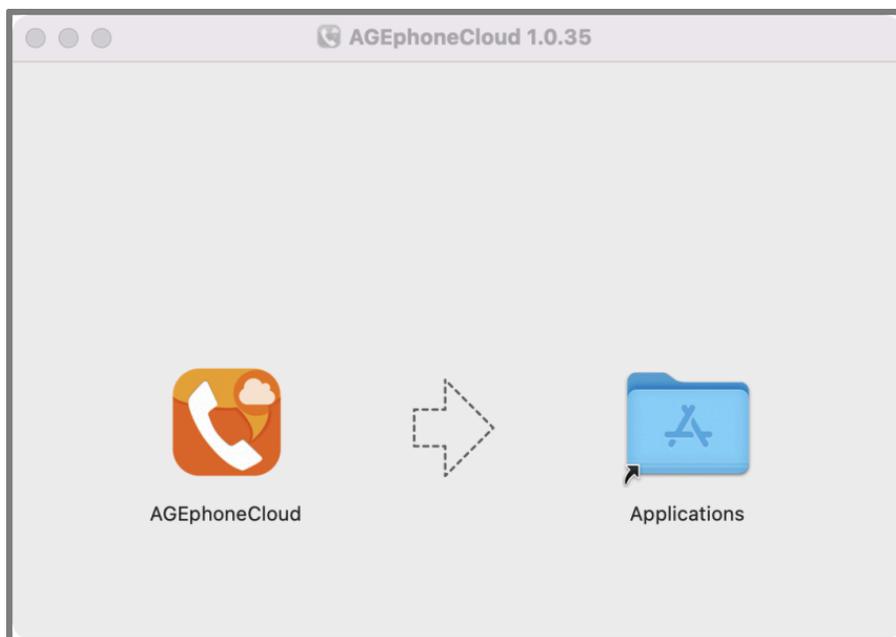
2.2 AGEphone Cloudをインストール

AGEphone Cloudの製品ページより、インストーラーをダウンロードします。

<https://www.agephone.biz/agephonecloud>

[Mac]

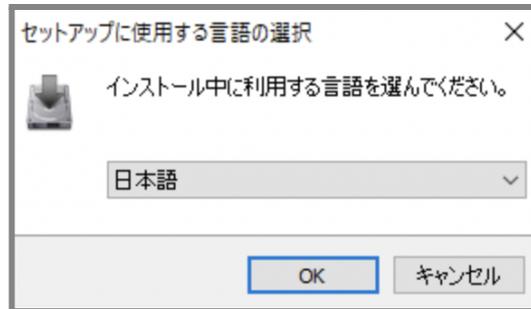
ダウンロードした.dmgファイルをダブルクリックしてインストーラーを開き、AGEphone CloudをApplicationsにドラッグ&ドロップします。



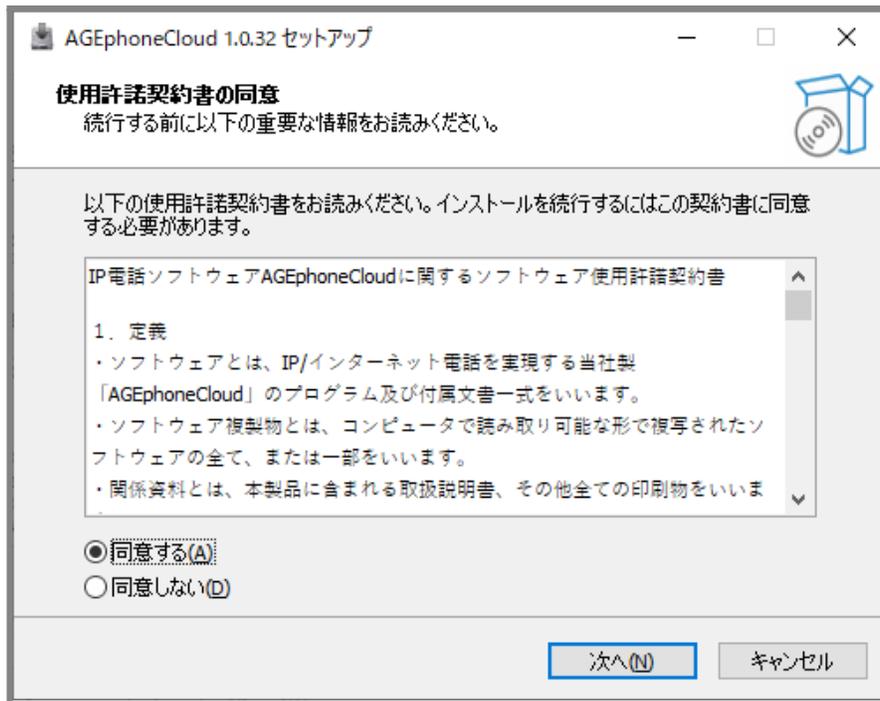
ApplicationフォルダからAGEphone Cloudを開きます。

[Windows]

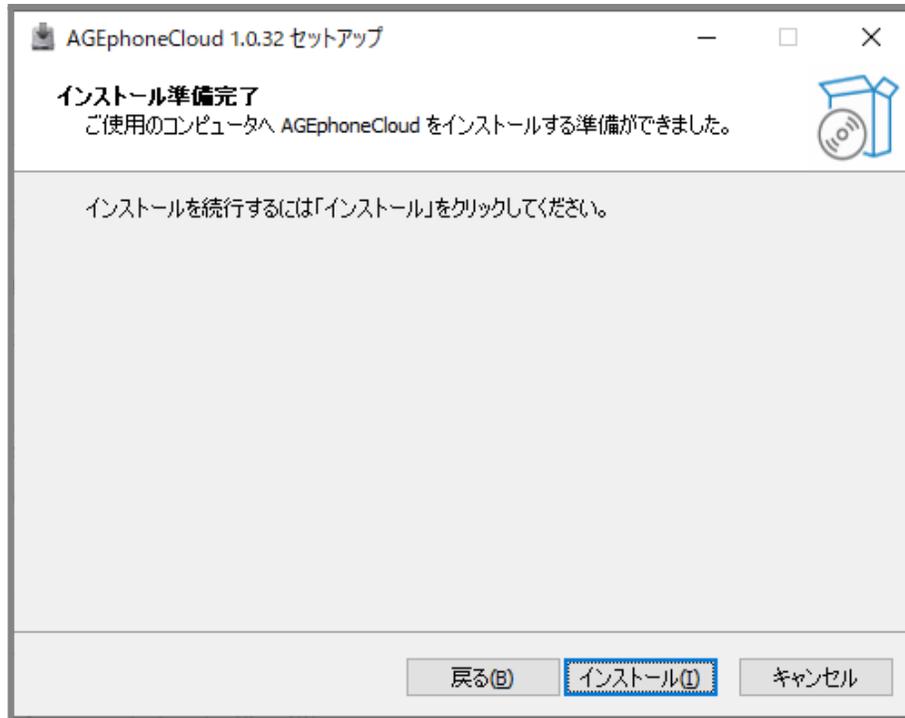
ダウンロードした.exeファイルをダブルクリックしてインストーラーを開きます。使用言語を選択し、「OK」を押下します。



使用許諾契約書をよくお読みいただき、同意していただける場合は「同意する」を選択し、「次へ」を押下します。



「インストール」を押下するとインストールを開始します。



インストールが完了したら、検索ボックスからAGEphone Cloudを開きます。

2.3 簡易設定(初回起動画面)



AGEphone Cloudをインストールし、「AGEphone利用規約」をご一読ください。一番下までスクロールしていただくことで、「次へ」を表示します。利用規約に同意いただける場合は、「次へ」をクリックしてください。AGEphone Cloudへのログイン画面が表示されたら、IP電話サービス提供元から案内されたテナントID、ログインIDおよびパスワードを入力し「次へ」をタップします。

SAML認証をご利用の方は、その他ログインをタップして開くログイン画面よりログインを実施してください。

接続中のネットワークでログイン情報の検索を行う場合、「こちらのリンクをクリックしてください」をクリックしてください。



セットアップ成功時

セットアップ失敗時

セットアップが成功したら、右下の「利用する」をタップします。

セットアップが失敗したら、左下の「戻る」よりログイン画面へ戻り、アカウント情報や、インターネット接続などをご確認の上、再度ログイン操作を行ってください。

2.4 クイック設定

Mac版AGEphone CloudではURLプロトコルスキームを使った簡単導入が可能です。
まずは、AGEphone Cloudをインストールしておきます。その後、以下のリンクを実行します。

<agesetup1:///tenantId=XXXXXX&loginId=1001&loginPassword=pw9999>

リンクが実行されるとAGEphone Cloudが立ち上がり、自動でログイン情報を入力します。

2.5 キーパッド画面

2.5.1 登録中



ログイン後、成功状態または失敗状態になるまで、左上の登録状態を示すステータスアイコンが青色  となります。この状態では、AGEphone Cloudでの発着信は行えませんので、登録状態が緑  になるまでお待ちください。

登録状態が青色のまま変化しない場合や赤  の状態となった場合は、アカウント設定の見直しや、ネットワーク接続環境に問題がないかご確認ください。

2.5.2 登録成功時



ログインに成功すると、左上の登録状態を示すステータスアイコンが緑となり、発着信が可能な状態になります。

2.5.3 登録失敗時



下記いずれかの理由で登録に失敗すると、左上の内線番号の横に表示されているステータスアイコンが赤になり、発着信が行えない状態となります。

1. 端末が正しいネットワークに接続できていない、もしくは接続が不安定
2. アカウント設定が利用環境向けに構築されていない、または誤って設定されている
3. サーバ側が応答しない状態に陥っている
4. ご利用のプラットフォームでライセンス認証されていないアカウントで登録を試みているなど。

1.~3.に関連する問題が発生していると、左上図のエラーメッセージが表示されます。アカウント設定の見直しや、ネットワーク接続環境に問題がないかご確認ください。

4.に関連する問題が発生していると、右上図のエラーメッセージが表示されます。ログイン情報の払い出し元までお問い合わせください。

2.6. 設定画面

[Mac]

AGEphone Cloudが最前面（FG）にある場合に、Mac の画面上部に表示されるアプリケーションメニューから設定画面を開くことができます。



[Windows]

AGEphone Cloudのウィンドウを右クリックすることでメニューを表示します。そのメニューから設定画面を開くことができます。



AGEphone Cloudでは、ログイン時にプロビジョニングデータが取得されるため、基本的に設定は変更していただく必要はございません。変更が必要な場合は設定メニューから詳細な設定を行ってください。



ライトモード適用時

ダークモード適用時

ログイン [2.7 ログイン情報設定画面](#)を開きます。ログインに使用している入力情報の確認やログアウトが行えます。

SIP設定入力 [2.8 SIPアカウント設定画面](#)を開きます。SIPアカウント設定の編集が行えます。プロビジョニングデータ内の設定により、SIP設定が不可になっている場合はグレーアウトとなり選択できない状態になります。

高度な設定 [2.9 高度な設定画面](#)を開きます。より詳細な設定を行う場合はここで設定を行います。

再起動 [2.11 再起動画面](#)を開き、SIPエンジンの再起動を試みます。SIPエンジンはAGEphone Cloudで通話を行うために動作しています。

利用規約 AGEphone Cloudの利用規約を表示します。

ライセンスについて オープンソースライセンスを表示します。

プライバシーポリシー 弊社ホームページに記載のプライバシーポリシーをウェブページで表示します。

2.7 ログイン情報設定画面

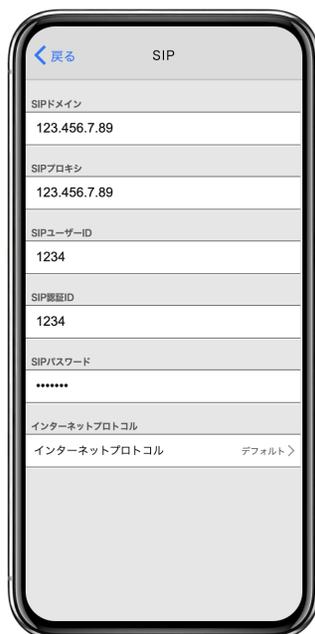


ログイン クリックすることで、[簡易設定\(初回起動画面\)](#)のログイン情報入力画面へ遷移します。AGEphone Cloudへのログイン情報を更新する場合はここで編集を行います。

ログアウト クリックすることで、ログイン中のアカウントからログアウトします。ログアウトするとプロビジョニングデータが削除され、発着信や通話はできなくなります。

「<戻る」(バックボタン)をタップすることで一つ前の画面へ遷移します。

2.8 SIPアカウント設定画面



ログイン情報で正しい情報を入れていただいている場合は、基本的に編集の必要はありません。AGEphone CloudのSIPアカウント情報を個別に更新する場合は、ここで編集を行います。

SIPドメイン セッションを実際に張るサーバの内容を入力します。サービス事業者によってはSIPプロキシサーバやSIPドメイン名と呼んだりすることもあります。また、SIPドメインをOutbound Proxyを挟んで通話する場合、そのOutbound Proxyのアドレスになります。

SIPプロキシ SIPサーバのアドレスを指定します。IPアドレスを直接入力することもできます。

SIPユーザーID ご利用中のサービスが050番号を使用している場合、050で始まる番号を入力します（'-'ハイフンは省略してください）。050番号を使わない場合は任意の文字列を入力できます。

SIP認証ID SIPアドレス内に含まれているユーザーIDとは別に、サーバを利用するために認証を行うときのIDを入力します。まれにサービス事業者により、ユーザーIDと認証IDが同じ場合があります。省略可能です。

SIPパスワード ご利用中のSIPアカウントのパスワードを入力します。入力すべき情報がわからない場合は、IP電話サービス提供元へお問い合わせください。

インターネットプロトコル 使用するインターネットプロトコルを次の値から指定できます。

- デフォルト
- IPv4
- IPv6
- IPv4もしくはIPv6

「<戻る」 (バックボタン) をタップすることで変更を保存し、一つ前の画面へ遷移します。

2.9 高度な設定画面



音声デバイスや着信音の変更など、詳細な設定を行えます。

サンプリング周波数 サンプリング周波数を次の値から選択できます。

※サンプリング周波数については機種によって利用可能・最適な値が異なるため、「デフォルト」の場合はご利用の機種の最適値を利用します。「デフォルト」で問題がない場合、変更の必要はございません。

- デフォルト
- 8000Hz
- 16000Hz
- 32000Hz
- 44100Hz
- 48000Hz

通話録音 通話録音を有効にすることで、通話中の音声を自動録音します。録音ファイルは通話履歴画面より確認することが可能です（[4.2.3 通話録音再生](#)参照）。

録音種別 通話録音の種別を次の値から選択できます。

- モノラル
- ステレオ

出力デバイス 通話時に通話音声を再生するためのデバイスを変更できます。

入力デバイス 通話時に通話音声を入力（録音）するためのデバイスを変更できます。

着信デバイス 着信時に着信音を再生するためのデバイスを変更できます。

内線着信音 内線着信の際の着信音を次の値から選択することができます。

- 黒電話の着信音
- デジタル着信音
- 内線（低）
- 内線（中）
- 内線（高）
- 外線（低）
- 外線（中）
- 外線（高）
- メロディー1
- メロディー2
- メロディー3
- メロディー4

外線着信音 外線着信の際の着信音を次の値から選択することができます。

- 黒電話の着信音
- デジタル着信音
- 内線（低）
- 内線（中）
- 内線（高）
- 外線（低）
- 外線（中）
- 外線（高）
- メロディー1
- メロディー2
- メロディー3

- メロディー4

EC種別 エコーキャンセルの種類を次の値から選択できます。

- DISABLED
- DEFAULT (Macのみ)
- WEBRTC

EC強度 エコーキャンセルの強度を次の値から選択できます。

- DEFAULT
- CONSERVATIVE
- MODERATE
- AGGRESSIVE

ECテール長 エコーキャンセルの長さを0から240の値で指定できます。

WEB連携 [2.10 WEB連携](#)画面を開きます。

「<戻る」(バックボタン)をタップすることで変更を保存し、一つ前の画面へ遷移します。

2.10 WEB連携



待機時、着信時、発信時、通話開始時、切断時、それぞれのタイミングでWEBサービスと連携することができます。

URLでパラメータとして使えるのは次の5つです。

- **相手のID** (番号) …%rid%
- **相手の名前** (連絡先名または表示名¹) …%rname%
- **自分のID** (番号) …%lid%
- **自分の名前**…%lname%
- **Call ID**…%callid%

Call IDとは、通話ごとにユニーク (一意) になるIDのことで、通話を識別する際に利用できます。

WEB連携を有効にする を有効にすることで、設定しているアクションURLがそれぞれのタイミングで実行されます。

例えば、着信時にその相手の番号をGoogleで調べたいときは、着信時ページURLに「<https://www.google.co.jp/search?q=%rid%>」を設定します。

¹ SIPパケットに表示名が含まれている場合に限りです。

名前で調べたい場合は「<https://www.google.co.jp/search?q=%rname%>」とします。検索に使用する値の優先順位は、次の通りです。

(優先順)

- 連絡先に登録されている名前
- 相手のSIPアカウントの表示名
- 相手のユーザID



例えば上記のような設定にすれば、着信した時には相手の番号で検索し、通話開始時には相手の名前（アドレス帳に登録されている連絡先名または表示名）で検索することができます。CRMなどのWEBアプリケーションと容易に連携することが可能です。

※URLの一部に日本語を利用する場合はURLエンコードを行ってください。ただし、URL中にパラメータを指定する場合はそのパラメータはエンコードを行わないでください。

例:

期待するURL

<https://www.example.com/param?電話番号=%rid%&お客様名=%rname%>

設定画面に入力するURL

<https://www.example.com/param?%E9%9B%BB%E8%A9%B1%E7%95%AA%E5%8F%B7=%rid%&%E3%81%8A%E5%AE%A2%E6%A7%98%E5%90%8D=%rname%>

2.11 再起動画面



SIPの再起動を行い、再登録を試みます。

再登録成功時はセットアップ完了画面を表示します。再登録失敗時はセットアップ未完了を表示しますので、ログイン情報や設定情報の見直し、ネットワーク接続環境に問題がないかご確認ください。

「<戻る」(バックボタン)をタップすることで一つ前の画面へ遷移します。

3. 操作方法

3.1 アプリケーションメニュー

[Mac]

AGEphone Cloudが最前面（FG）にある場合に、Mac の画面上部に表示されるアプリケーションメニューからは、必要最小限のメニューが表示されています。



[Windows]

AGEphone Cloudのウィンドウを右クリックすることでメニューを表示します。



ログアウト AGEphone Cloudが待機中にのみ、ログイン中のアカウントからログアウトします。ログアウトするとプロビジョニングデータが削除され、発着信や通話はできなくなります。ログアウト操作は、[2.7 ログイン情報設定画面](#)からも実施することができます。

再起動 SIPエンジンの再起動を試みます。SIPエンジンはAGEphone Cloudで通話を行うために動作しています。AGEphone Cloudで通話中に実行すると、通話は切断されますのでご注意ください。SIP再起動は[高度な設定画面](#)からも実施することができます。

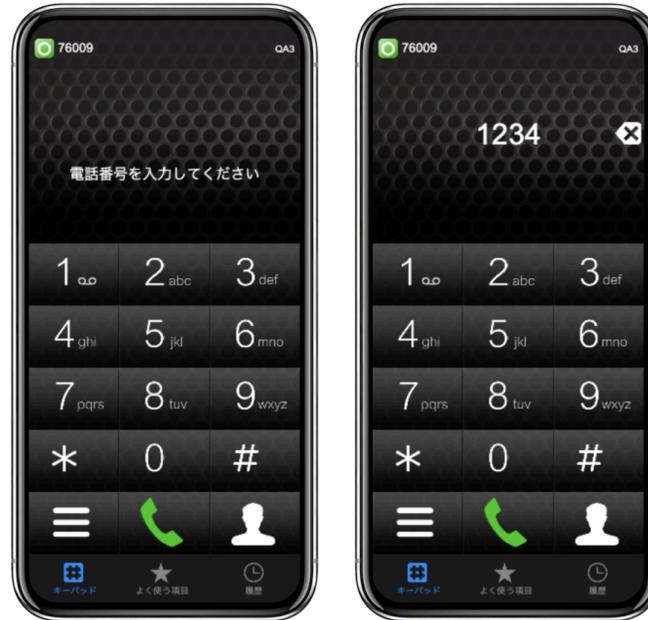
AGEphoneCloudについて AGEphone Cloudアプリの情報を表示します。

終了 AGEphone Cloudが待機中にのみ、AGEphone Cloudを終了します。終了中は着信を受けることができなくなりますのでご注意ください。

設定 AGEphone Cloudが待機中にのみ、[設定画面](#)を開きます。設定画面を開いている場合は、着信を受けることはできませんのでご注意ください。AGEphone Cloudを+電話帳サービスと連携せずに利用されている場合に[連絡先をインポートする](#)ためのメニューは、こちらから選択できます。

3.2 発信する

3.2.1 発信する(直接入力)



キーパッド画面またはキーボードから番号を直接入力し、発信ボタン  またはEnterキーをクリックすると入力したダイヤル番号へ発信を行います。

※AGEphone Cloudアプリでは、110番、119番、118番の緊急ダイヤル番号へ発信を行うことはできません。

3.2.2 発信する(リダイヤル)



電話番号が入力されていない状態で発信ボタン  をクリック、またはEnterキーを入力すると、直前に発信を行った電話番号の入力を行います。番号が入力された状態で発信ボタン

 をクリック、またはEnterキーを入力すると、リダイヤル入力したダイヤル番号へ発信を行います。

3.2.3 発信する(よく使う項目)



AGEphone Cloudの画面下の「よく使う項目」をタップすることで、+電話帳サーバにおいてお気に入りに登録されている連絡先を表示します。登録済みの連絡先をタップすると、選択した登録済みの電話番号へ発信を行います。

よく使う項目への登録方法は+電話帳サーバのマニュアルをご確認ください。

3.2.4 発信する(履歴)



AGEphone Cloudの画面下の「履歴」をタップすることで、履歴を表示します。履歴のある電話番号をタップすると、選択した履歴の電話番号へ発信を行います。

3.2.5 発信する(連絡先)



連絡先ボタン  をタップすることで、連絡先一覧を表示します。

発信したい連絡先をタップすることで、選択した連絡先が保持する番号リストを開きます。番号をクリックすることで選択した番号へ発信を行います。

3.3 発信時



電話番号を入力した後、発信ボタン  をクリック、またはEnterキーを入力することで発信を行います。

スピーカー クリックすることで、AGEphone Cloudで利用可能なスピーカー一覧を表示します。現在利用されているスピーカーにはチェックマークが表示されます。一覧から、スピーカーの切り替えが可能です。変更された設定は、以降の通話にも適用されます。

キーパッド キーパッドを表示します。

通話終了 発信をキャンセルします。Escキーの入力からでも発信をキャンセルすることができます。

3.4 着信

3.4.1 着信させる



SIP登録に成功している場合、画面左上のSIPステータスアイコンが緑のアイコン  の表示となります。このアイコンが表示されている時は、AGEphone Cloudがフォアグラウンド状態の時や、タスクバーで起動中の時に着信を受けることができます。

3.5 着信時

3.5.1 着信画面



着信番号が連絡先の電話番号にある場合、その名前を表示します。また、この時、着信履歴にもその名前を記録します。

応答 着信に応答します。

拒否 通話を拒否します。Escキーの入力からでも着信を拒否することができます。

3.5.2 着信通知ポップアップ

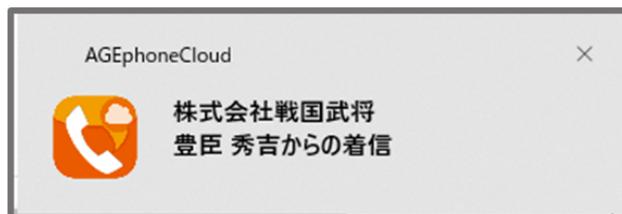
[Mac]

MacOSの設定でAGEphone Cloudの通知を許可されている場合、設定内容に従って通知を表示します。



[Windows]

着信番号が連絡先の電話番号にある場合、その名前を表示します。また、この時、着信履歴にもその名前を記録します。



クリックすることで、着信に応答します。

3.6 通話接続時



着信に応答した場合、または発信時に発信先が応答すると通話中の画面に状態遷移します。

メニュー プロビジョニングデータで設定されている通話時のメニューを表示します。

消音 消音/消音解除を切り替えます。消音中は通話状態の横に「(消音中)」と表示します。

スピーカー クリックすることで、AGEphone Cloudで利用可能なスピーカー一覧を表示します。現在利用されているスピーカーにはチェックマークが表示されます。一覧から、スピーカーの切り替えが可能です。変更された設定は、以降の通話にも適用されます。

保留 接続中の通話を保留します。

通話終了 接続中の通話を切断します。Escキーの入力からでも通話を切断することができます。

キーパッド キーパッド画面を表示します。

録音 通話録音有効/無効の切り替えを行います。通話録音有効時は、通話を録音します。通話録音無効時は通話の録音は行いません。録音した通話の再生方法は[4.2.3 通話録音再生](#)をご確認ください。通話録音の有効/無効の設定は、[2.10 高度な設定画面の通話録音](#)からも変更が可能です。

3.6.1 キーパッド(通話接続時)



通話接続時の「キーパッド」ボタンにより表示します。

キーパッド 番号を入力することにより、DTMFを送出します。DTMFの形式は、プロビジョニングサーバで設定されている形式となります。キーボードから#を入力するには、/を入力してください。

通話終了 接続中の通話を切断します。Escキーの入力からでも通話を切断することができます。

隠すボタン  をクリックすることで、キーパッド画面を閉じます。

3.7 パーク保留・パーク応答

通話中のメニューボタンに、パーク保留などをプロビジョニングしている場合、接続中の通話を簡単にパーク保留（サーバへ時的に通話を預ける）することができます。パーク保留された通話は、同じサーバを使用しているアカウントからであれば、再び通話を接続させることが可能です。

※パーク保留・応答はご利用のサーバが対応している必要があります。対応していない場合は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

3.7.1 通話をパーク保留にする



①	通話中に「メニュー」ボタンをタップする。
②	「パーク保留」ボタンをタップする。※メニュー名はプロビジョニングデータにより異なります。

パーク保留に成功すると、パーク保留の操作をした側では通話は切断され、パーク保留された側では通話が保留状態に遷移します。

3.7.2 パーク保留を解除する

待機中のメニューボタンに、パーク応答などをプロビジョニングしている場合、簡単にパーク保留を解除することができます。



①	通話のない状態のキーパッド画面から、「メニュー」ボタンをタップする。
②	「パーク保留解除1」ボタンをタップする。※メニュー名はプロビジョニングデータにより異なります。

パーク応答が成功すると、パーク保留されていた通話と接続が完了し、通話を行うことができます。パーク応答はパーク保留をしたユーザでなくとも、同じサーバを使用しているユーザであれば行うことが可能です。

例 AさんとBさんが通話中、AさんがBさんをパーク保留にする
Cさんがパーク応答の操作を行い、Bさんと通話を接続する

3.8 ピックアップ

AGEphone Cloudでは、同じグループ内線などに着信している通話をピックアップ(代理応答)することが可能です。着信端末が着信に応答できない時に、別の端末から着信に応答することができる機能です。

※ピックアップはご利用のサーバが対応している必要があります。対応していない場合は、ご利用いただけませんのでご注意ください。



①	Aさんの端末に呼出があり、Bさんが通話のない状態のキーパッド画面から、「メニュー」ボタンをタップする。
②	「ピックアップ」ボタンをタップする。※メニュー名はプロビジョニングデータにより異なります。

ピックアップに成功すると、Aさん呼び出していた内線に応答することができます。

3.9 保留時



通話中の状態で保留ボタンをタップすると、保留中の画面に状態遷移します。

転送先を呼出 転送先候補を表示します。

連絡先 連絡先一覧を開きます。

保留解除 保留中の通話を保留解除し、再び通話中の状態にします。

通話終了 接続中の通話を切断します。Escキーの入力からでも通話を切断することができます。

キーパッド キーパッド画面を表示します。

3.9.1 キーパッド(保留時)



保留時の「キーパッド」ボタンより表示します。

キーパッド 転送先の番号を直接入力できます。キーボードから#を入力するには、/を入力してください。

発信 入力した転送先の番号へ発信します。Enterキーの入力からでも発信が可能です。

通話終了 接続中の通話を切断します。Escキーの入力からでも通話を切断することができます。

隠すボタン  をクリックすることで、キーパッド画面を閉じます。

3.10 転送先の呼出



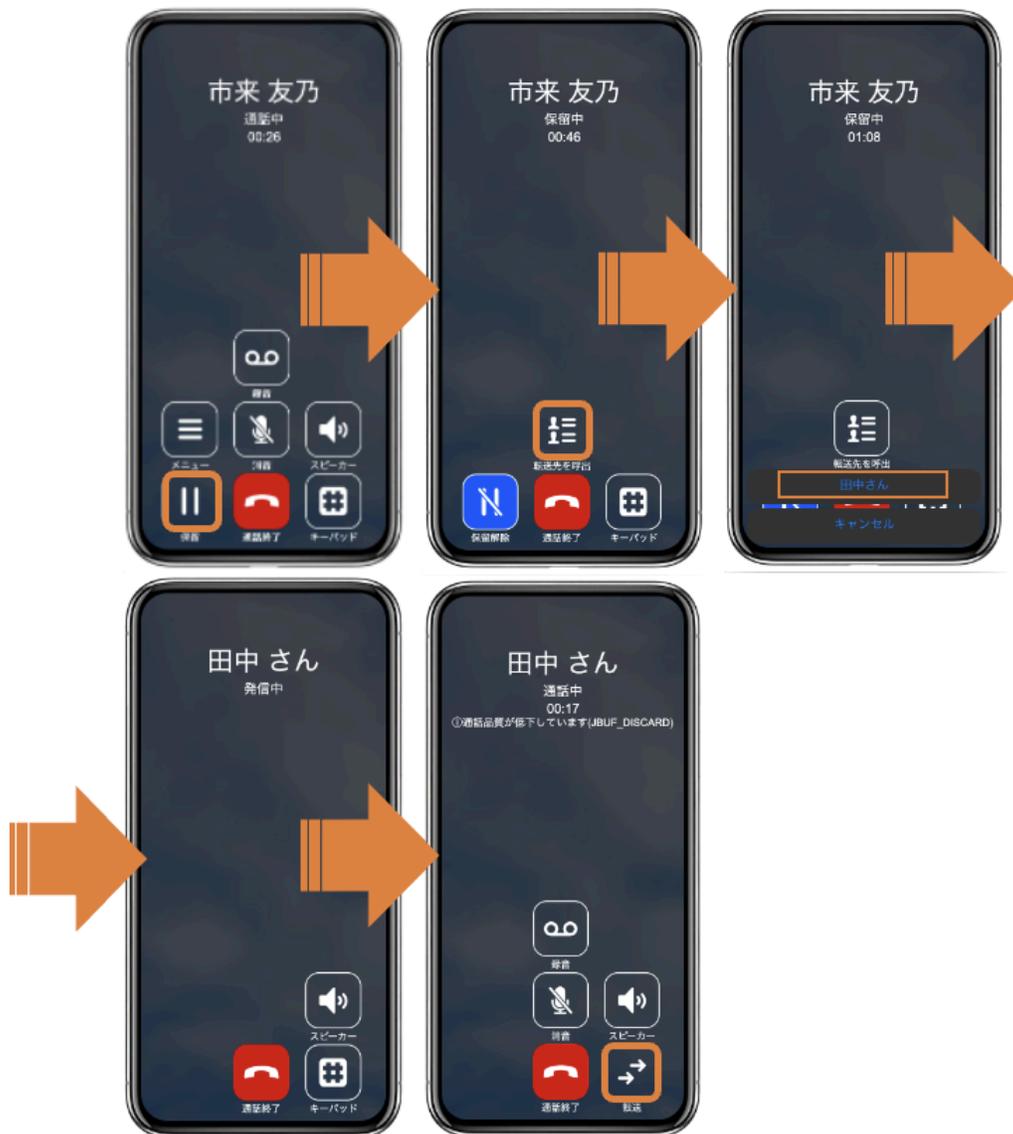
※メニュー名はプロビジョニングデータにより異なります。

保留中の状態で転送先を呼出ボタンをタップすることで、転送先を選択するメニューを表示します。

※転送機能はご利用のサーバが対応している必要があります。対応していない場合はご利用いただけませんのでご注意ください。

3.11 転送操作

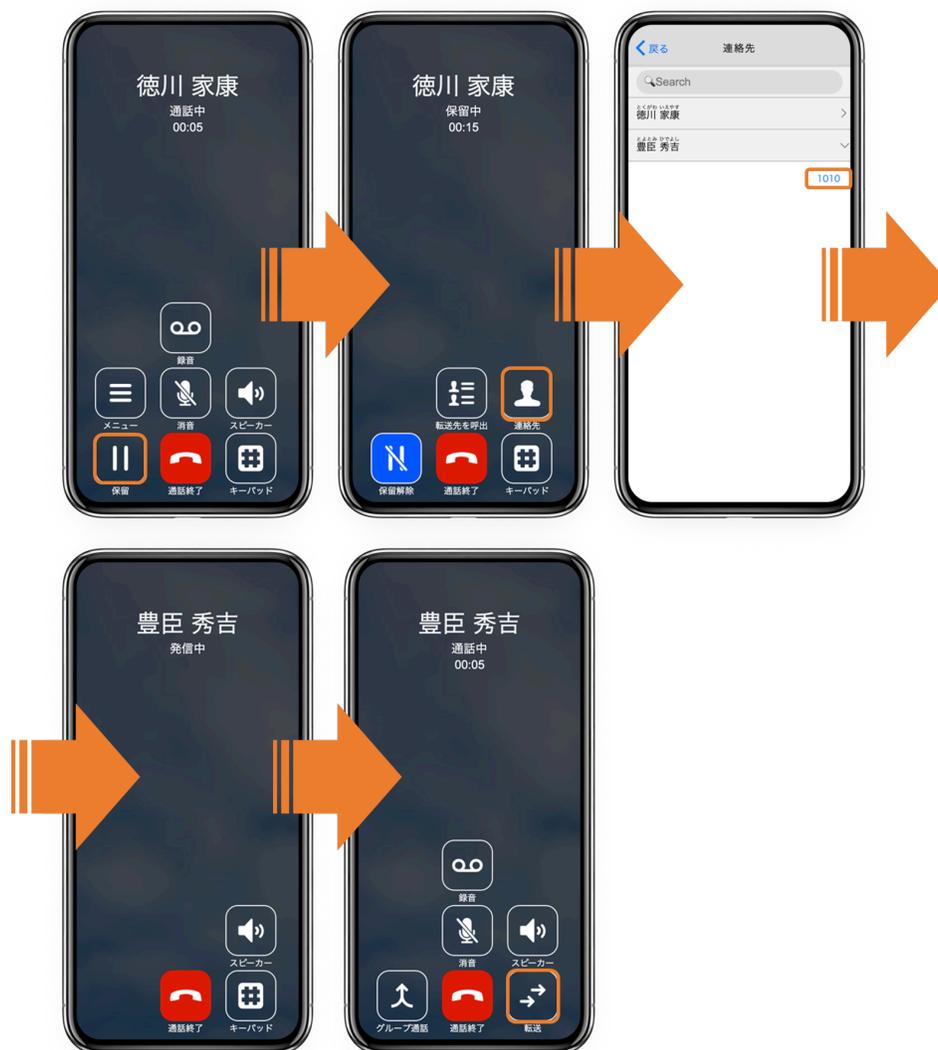
3.11.1 転送操作(転送先を呼出)



①	通話中に「保留」ボタンをタップする。
②	通話が保留状態になったら、「転送先を呼出」ボタンをタップする。
③	転送先候補の中から転送先を指定する。※メニュー名はプロビジョニングデータにより

	異なります。
④	転送先が応答したら「転送」ボタンをタップし、転送を完了する。

3.11.2 転送操作(連絡先)



①	通話中に「保留」ボタンをタップする。
②	通話が保留状態になったら、「連絡先」ボタンをタップする。
③	連絡先の中から転送先を指定する。
④	転送先が応答したら「転送」ボタンをタップし、転送を完了する。

3.11.3 転送操作(キーパッド)



①	通話中に「保留」ボタンをタップする。
②	通話が保留状態になったら、「キーパッド」ボタンをタップする。
③	転送先の電話番号を入力し「発信」ボタンをタップする。
④	転送先が応答したら「転送」ボタンをタップし、転送を完了する。

4. その他の操作

4.1 連絡先



Searchボックス +電話帳サーバに登録されている連絡先、またはインポートした連絡先から、姓・名（ふりがな含む）、内線番号、携帯番号、一般電話、会社名で検索することができます。

連絡先 クリックすることで連絡先が保持している電話番号のリストを表示します。もう一度クリックすることでリストを閉じます。

「<戻る」（バックボタン）をタップすることで連絡先を閉じます。

4.1.1 連絡先のインポート

AGEphone Cloudを+電話帳サービスと連携せずに利用されている場合、CSVファイルによる連絡先のインポートが行えます。

[3.1 アプリケーションメニュー](#)から「設定」ボタンをクリックします。



「連絡先」にマウスカーソルを合わせて、「インポート」をクリックします。



インポートするCSVファイルを選択します。



「連絡先」ボタンをタップし、連絡先がインポートされていることを確認します。



csvファイルでは、最初の行で連絡先情報のカラムの定義をする必要があります。

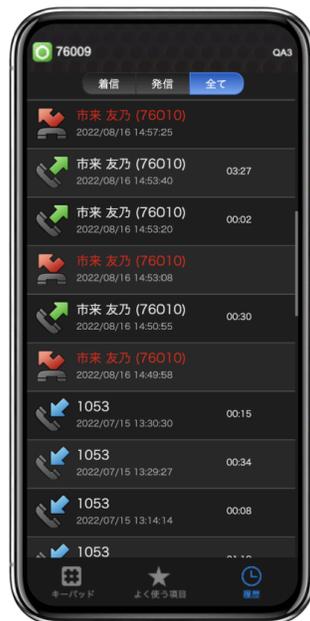
例：

first_name,last_name,phone

三郎,田中,123

※連絡先データはログアウトによって削除します。また、インポートの度に一新しますので、使用したcsvファイルは常に保存するようにしてください。新しい連絡先を追加されたい場合や、登録済みのデータを変更されたい場合には、使用したcsvファイルを編集した上で再度インポートしてください。

4.2 通話履歴



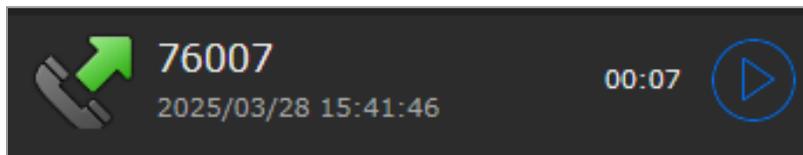
AGEphone Cloudの画面下の「履歴」をタップすることで、AGEphone Cloudの履歴を表示します。

通信方向セレクトタ 着信 発信 全て から、表示する項目を通話方向毎に絞ることができます。



不在着信バッジ 不在着信がある場合、不在着信バッジを履歴のタブに表示します。数字は不在着信の数を表します。履歴タブを開くことで既読状態になり、バッジは非表示になります。なお、AGEphone Cloudアプリを終了することでもバッジは非表示になりますのでご注意ください。

4.2.1 通話履歴項目



通話方向アイコン 履歴項目の不在着信、着信、発信の状態をアイコンで表示します。



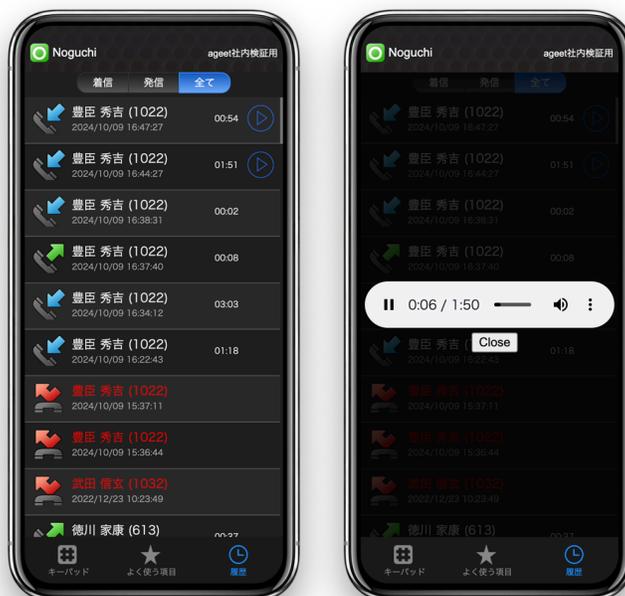
表示名 通話相手の表示名を表示します。

履歴項目作成日時 履歴項目が追加された日時を表示します。

通話時間 通話開始から終了までの時間を表示します。

通話録音再生 録音ファイルがある場合に再生ボタン  が表示されます。詳細は[4.2.3 通話録音再生](#)をご確認ください。

4.2.3 通話録音再生



[2.9 高度な設定画面](#)において[通話録音](#)が有効の場合、通話開始時に自動的に通話音声を録音します。また、[3.5 通話接続時](#)の通話録音より通話を録音した場合にも、録音された音声は履歴画面右横に設けられた再生ボタン  から再生が可能です。

再生ボタン 録音ファイルを再生します。

停止ボタン 録音ファイルの再生を停止します。

プログレスバー プログレスバーをドラッグすると再生中の録音ファイルの中で、再生する箇所を変更できます。

スピーカーボタン クリックすることで録音ファイルの再生ボリュームをミュートします。マウスオーバーするとスピーカーボリュームバーが表示されます。

スピーカーボリュームバー バーをスライドすることで録音ファイルの再生ボリュームを調整します。

メニューボタン 再生速度を変更することができます。

Close クリックすることで録音ファイルストリーミングバーを閉じ、履歴画面へ戻ります。

4.3 ログファイルパス

AGEphone Cloudのログファイルは、2種類あり、それぞれ以下の場所に格納されています。指定があったログを保存してください。

[Mac] サービスアプリログ

/Users/<PCログインユーザ名>/SipManagerService



Macintosh HD > ユーザ > PCログインユーザ名 > SipManagerService > sipmanagerservice.log

[Mac] アプリログ

/Users/<PCログインユーザ名>/Library/Logs/AGEphoneCloud



Macintosh HD > ユーザ > PCログインユーザ名 > ライブラリ > Logs > AGEphoneCloud > application.log

[Windows] サービスアプリログ

C:\Users\<PCログインユーザ名>\AppData\Roaming\SipManagerServiceApp



> PCログインユーザ名 > AppData > Roaming > SipManagerServiceApp

[Windows] アプリログ

C:\Users\<PCログインユーザ名>\AppData\Roaming\AGEphoneCloud\logs



> PCログインユーザ名 > AppData > Roaming > AGEphoneCloud > logs

ログを取得する場合は、まずAGEphone Cloudを終了した上で一度既存のログファイルを消去し、問題等を再現し、生成されたログファイルをご利用ください。

4.4 通話会議を行う(開発中)

通話が2つ接続されている状態で、通話画面から通話会議を行うことができます。



①	通話中に「保留」ボタンをタップする。
②	通話が保留状態になったら、任意の方法で第二呼へ発信する。
③	相手が応答したら「グループ通話」ボタンをタップ。



通話会議画面(ホスト側)

「通話終了」ボタンをタップすることで、通話会議を終了します。ゲスト側のどちらかが通話を切断した場合、残ったゲストとの通話画面へ遷移します。



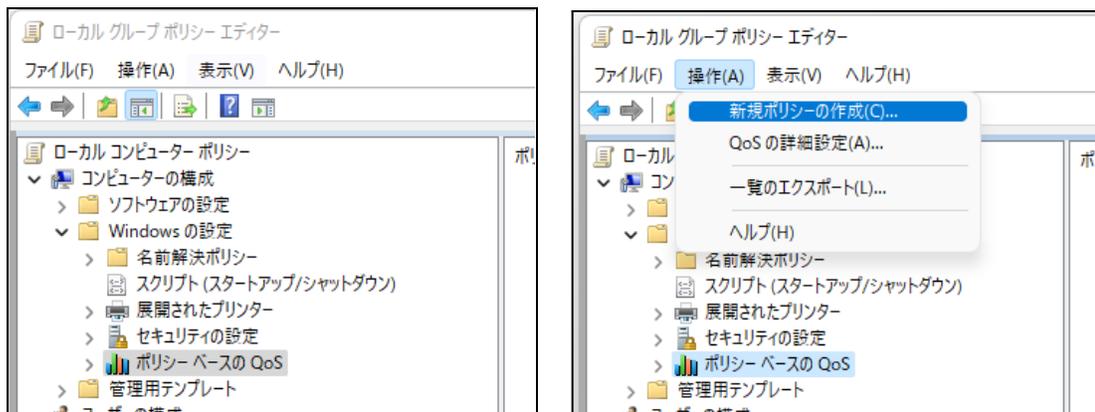
通話会議画面(ゲスト側)

「通話終了」ボタンをタップすることで、通話会議から退出します。ホスト側が通話を切断した場合、通話会議が終了し、待機画面へ遷移します。

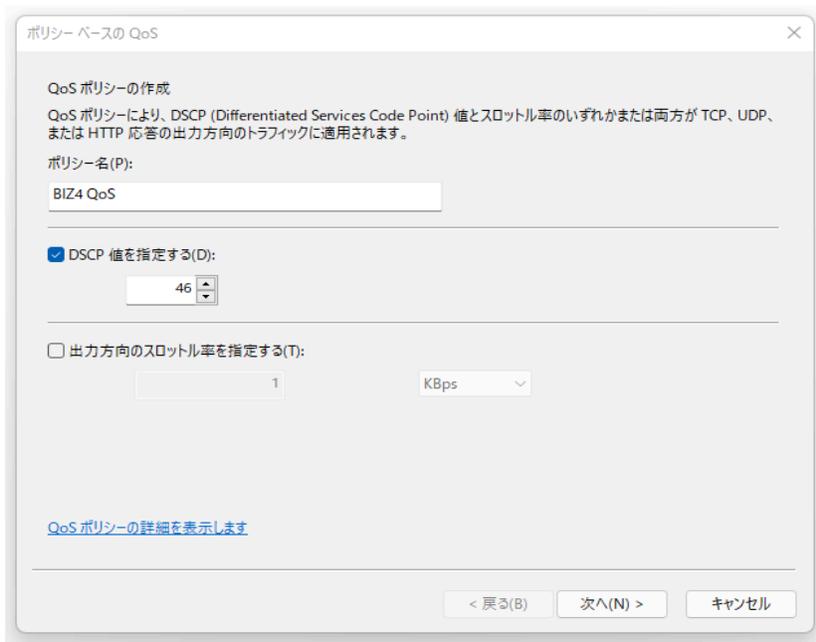
4.5 QoS設定

QoS設定が必要な場合はWindowsにて以下の手順に沿って設定してください。

1. 「gpedit.msc」を起動します。
2. 「コンピューターの構成」→「Windowsの設定」→「ポリシーベースのQoS」をクリックしメニューの操作タブで「新規ポリシーの作成」を選択します。

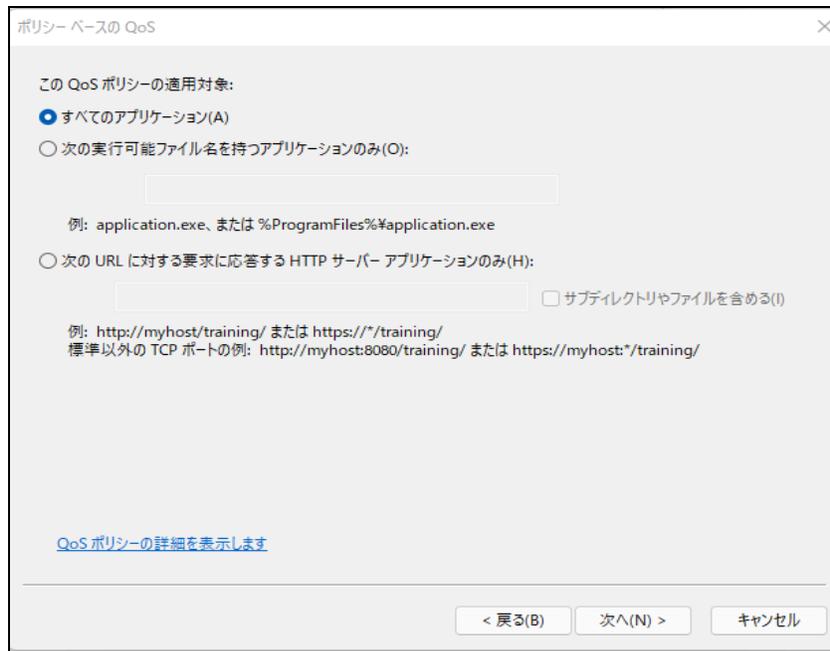


3. 任意のポリシー名とDSCP値を入力し「次へ」をクリックします。



- すべてのアプリケーション、またはアプリケーション名を指定して「次へ」をクリックします。

(例) C:\Program Files (x86) \AGEphoneCloud.exe



- 送信元またはあて先のIPアドレスを入力し「次へ」をクリックします。
- 送信パケットの宛先を限定してDSCP値を指定する場合は[次の宛先IPアドレスまたはプレフィックスのみ]を指定してください。

ポリシーベースの QoS

発信元と宛先の IP アドレスを指定してください。

QoS ポリシーは、発信元または宛先の IP (IPv4 または IPv6) アドレスまたはプレフィックスからの出力方向のトラフィックに適用できます。HTTP 応答トラフィックでは、宛先の IP アドレスまたはプレフィックスは HTTP 要求を発行したクライアントを示しません。

この QoS ポリシーの適用対象:

すべての発信元 IP アドレス(A)

次の発信元 IP アドレスのみ(O):

この QoS ポリシーの適用対象:

すべての宛先 IP アドレス(N)

次の宛先 IP アドレスまたはプレフィックスのみ(Y):

ホスト アドレスの例: 1.2.3.4 または 3ffe:ffff::1
 アドレス プレフィックスの例: 192.168.1.0/24 または fe80::1234/48

[QoS ポリシーの詳細を表示します](#)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

7. SIPとRTPともにDSCP値を指定する場合はプロトコルを[TCPとUDP]、DSCP値を変更するパケットの宛先ポートを限定する場合は[次の宛先ポート番号か範囲]を選択し、ポートの例、ポート範囲の例に従い入力し「完了」をクリックします。

ポリシーベースの QoS

プロトコルとポート番号を指定してください。

QoS ポリシーは、特定のプロトコル、発信元ポート番号または範囲、宛先ポート番号または範囲を使用する出力方向のトラフィックに適用できます。

この QoS ポリシーを適用するプロトコルを選択してください(S):

TCP

発信元ポート番号を指定してください:

任意の発信元ポート(F)

次の発信元ポート番号か範囲(R):

ポートの例: 443
 ポート範囲の例: 137:139

宛先ポート番号を指定してください:

任意の宛先ポート(T)

次の宛先ポート番号か範囲(O):

[QoS ポリシーの詳細を表示します](#)

< 戻る(B) 完了 キャンセル

Windows11をご使用の場合、上記の設定に加え、下記の設定を行ってください。

1. レジストリエディタを開き下記のパスの設定値を確認します。
2. 「コンピューター
\\HKEY_LOCAL_MACHINE\\SYSTEM\\CurrentControlSet\\Services\\Tcpip\\QoS」 [QoS]
というレジストリキーがない場合は、 [Tcpip]を 右クリックし、[新規] をポイントして、[キー] をクリックし、作成されたキーに「QoS」と入力します。
3. [QoS] を右クリックし、[新規] をポイントして、[文字列値] をクリックします。
4. 作成された値に「Do not use NLA」と入力し、値の名前を変更します。
5. [Do no use NLA] をダブルクリックします。[文字列の編集] ダイアログ ボックスで、[値のデータ] ボックスに「1」と入力後、[OK] をクリックし、PCを再起動してください。

5. お問い合わせ先

◆よくあるご質問：<https://www.ageet.com/agephone-faq>

AGEphone Cloudアプリのログイン情報を弊社から直接払い出ししている場合は、株式会社 ageet(アギート)のサポートセンター <https://www.ageet.com/contact> までお願いいたします。お電話でのサポートは受け付けておりませんので予めご了承ください。

販売代理店からログイン情報を払い出しされている場合は、販売代理店のお問い合わせ窓口までご連絡いただきますようお願いいたします。



開発元：株式会社 ageet(アギート)
〒617-0002 京都府向日市寺戸町修理式13-98